



# KAMO Junior High School NEWS

鴨志田中学校通信



鴨志田中学校  
鴨中PTA

## リラックマの背中越しにみえたもの

副校長 高橋陽子

鴨志田中学校では、地域の方々のご協力を得て12月には3年生が模擬面接、年が明けてからは2年生がアスリードさんのお手配でオンラインによる職業体験学習を体験しました。生徒も講師の方々もそれぞれに感動する内容であったと聞いています。講師の皆さま、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。そして現在、3年生は高校入試の出願手続きや推薦入試など、進路の取組の真っ最中です。義務教育を終える中学3年生にとっては人生の中で最初の大きな決断の時であり、試練の時であると思います。自分の進路を考えると、夢や希望がもちろんあるけど不安もつきものです。将来どんな職業に就こうか、どんな高校に進学しようか、大学に行くのか、社会に出て働くのか、専門学校に行こうか、などなど。また、大人になったらなっただで、それぞれの年代で未来に対する様々な思いがあると思います。

ある日、私はコンビニでこんなテーマが書かれている雑誌を見つけました。『毎日が面白くなる人生後半の時間術』 私はもう50才、人生後半?! 若人よ、人生なんてあっという間に過ぎ去るのです。楽しいことも、辛いことも、悲しいことも全部自分の人生で起こることは自分で受け止めなければ! 過去の経験を活かして未来を自分で切り開いていかなければ!! 何かヒントが・・・結局、その雑誌を私は買いました。あるページに「まあごゆるりと」という言葉とともに寝そべっているリラックマを見つけました。世の中の色々な場面や商品でリラックマを見かけますが、いつでも、どのリラックマを見ても私はかわいいな、癒されるなと感じていました。そのページには、サンエックスでリラックマ担当プランナーを務める西田愛実さんの記事が載っていました。

リラックマシリーズは2023年で20周年を迎える。「開発当初から「まあ、ごゆるりと」という言葉をベースにグッズを展開してきました。完ぺきではなくダメなところがある、それでも気にせず過ごす姿を見て、「等身大の自分でいてもいいんだ」と思えるところが、20年近く愛され続ける要因の一つです」・・・「開発チームでセリフを考えると、自身がリラックマになりきってアイデアを出していきます。「この場面だとリラックマはどう言うだろう」「どんな言葉をかけてもらいたいだろう」この点を意識しながら、言葉やデザインを出していきます」・・・「リラックマは、好きなものに対しては食欲。でも、他人に強要したり、責めたりすることはありません。そんな姿勢が、年代問わず受け入れていただけているポイントでしょう。親しい仲でも言いづらいような気持ちや、辛くて悲しいことを、リラックマになら打ち明けられる。そんな存在になっていたら嬉しいです」気を張りつめて疲れてしまったら、一緒にダラダラしてリラックスしてもらいたい。こんな思いが開発者にはあるのだ。・・・人気は日本だけにとどまらず、世界中にファンが増えているというリラックマ。仕事をがんばりすぎて疲れてしまったら、リラックマを見たり、セリフを読んで一呼吸。・・・

『PRESIDENT 2022.11.18.』P.65 プレジデント社より

そういうことか、リラックマはただそれだけでかわいく存在しているのではなく、西田さんたちのようなプランナーやデザイナーのような仕事をしている人たちで創り出され、サンエックスという会社で世の中に送り出され、私たちのもとに届き、私たちは癒されているんだ。リラックマしか見えていなかった私に、リラックマの背中越しに西田さんたちが、優しく、温かく、人を想って働く人々の姿が見えてきました。社会の色々な人々の、色々な仕事によって私たちは支えられ、生きているのだと実感しました。



3年生の皆さん、皆さんが将来、色々な場所で、色々な仕事で活躍している姿が私には想像できます。入試のラストスパート、リラックマに癒されて頑張っってね。応援しています。

※サンエックス株式会社、プレジデント社より掲載、引用の許可はいただいています。ご協力に感謝いたします。

# School Life



## ● 模擬面接

12月7日から9日の3日間にわたって、3年ぶりに模擬面接が行われました。18名の地域の方々に面接官としてご協力いただきました。緊張感が感じとられる、試験本番さながらの雰囲気での臨むことができました。

生徒は学校の先生や友だち、家族以外の人と、あらためてお話ししたり、面接したりする機会はこれまでなかったので、緊張した生徒が多くいましたが、とても優しく面接してくださり、また、当日に向けて自信につながるアドバイスもいただき、貴重な機会をもつことができました。この機会を試験本番、そして将来にまでつなげ生かしていける経験とすることができました。

## ● 元サッカー日本代表・城彰二氏がきました

1月14日、元サッカー日本代表の城彰二さんが来校され、サッカー部の特別指導をしていただきました。これは、市が進めている「部活動地域移行」の一環で、本校は(株)リーフラスから休日練習にインストラクターがサッカー部はじめ4部活動に派遣されています(昨年、日本テレビ「ZIP!」で放送)。

城さんの指導は、基本に従って行われました。部員は、トレーニング内容に苦戦しながらも、元プロサッカー選手の一挙手一投足を逃すまいと、集中して練習に取り組みました。城さんの「失敗してもいい」という言葉に深く感銘を受け、自分たちの弱点を克服しようと意気込む様子が見られました。また、部員のみならず、顧問にとっても非常に勉強になる時間となりました。今回の貴重な経験を忘れず、今後も練習に励みます。\*学校の掲載許可はリーフラス及びリーフラスを通して城さんの許可がありますが、SNSへの掲載禁止です。



## PTA よいお知らせ

★新年を迎え、今年度もあと2か月となりました。引き続きPTA活動へのご協力をお願いいたします。標準服・ジャージ等のリサイクル品を随時募集しています。紙ベルマーク収集とウェブベルマークへの登録もよろしくお願いいたします！

PTA本部役員一同